

整理番号 S-61

出展 織物欠点解析事例集

欠点名 汚れ(原糸不良)

品名 絹羽二重

試料形態 織物

組織 平

糸使い

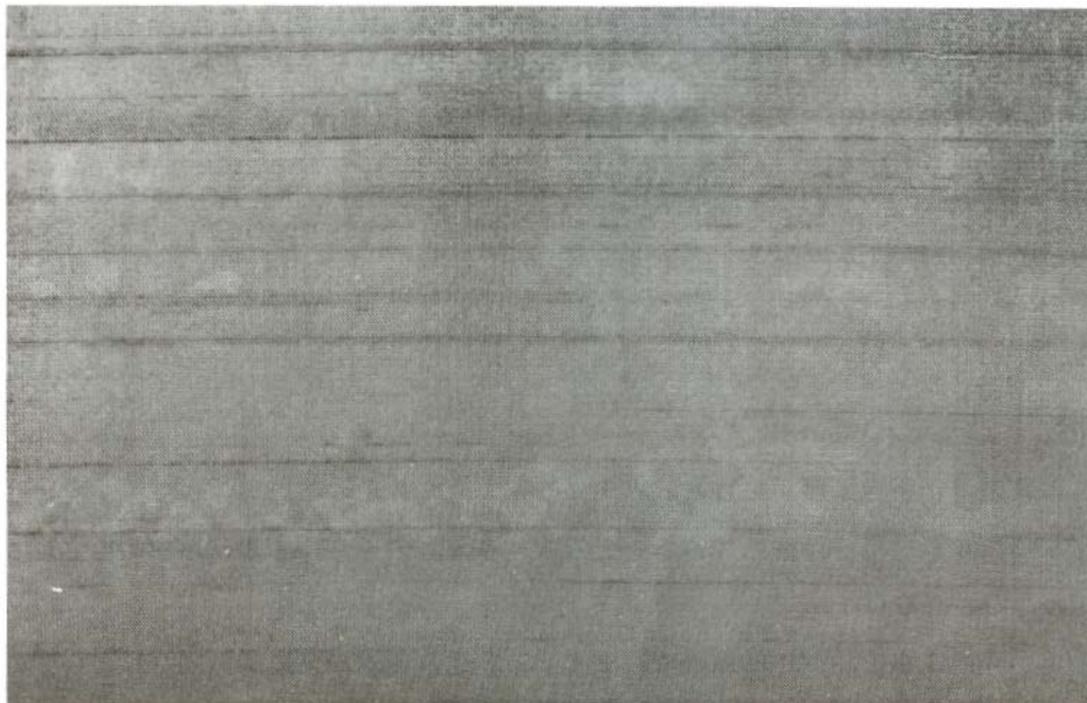
たて糸:生糸

よこ糸:生糸 21 中/2×2 本 引揃え

欠点発生状況

絹羽二重の生機^のよこ方向に茶褐色の汚れが断続的に入っている。撚糸工程による油汚れに類似している。

試料写真



試験結果

(1) マイクロスコープ観察

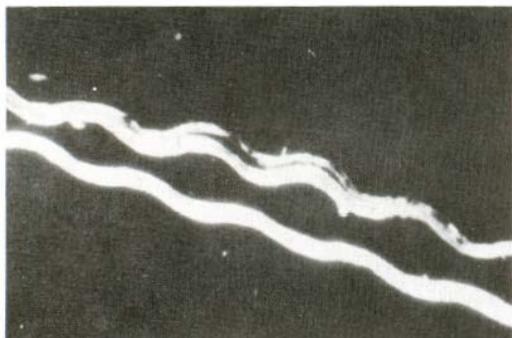


写真 1. 汚れ部分の緯糸

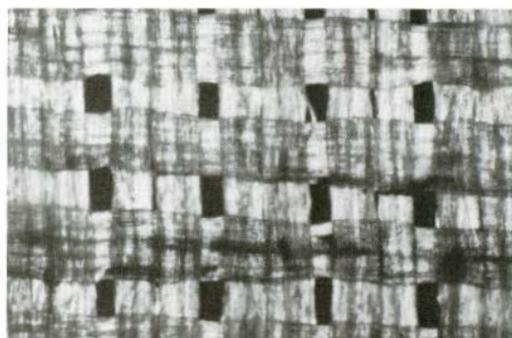


写真 3. 織物の顕微鏡写真



写真 2. 汚れ部分の拡大

所見

汚れの原因は、製織工程から製糸工程まで遡って種々考えられるが、本事例の場合は汚染されている部位のよこ糸を解撚してみると、21 中生糸 2 本のうちの 1 本だけが汚染されていることがわかる(写真 1)。

さらに、この 1 本を詳細に顕微鏡で観察すると、生糸 1 本の全体が汚染されているのではなく、7~8 粒の繭糸が集束されているうちの 1 粒の繭糸だけが汚染されていて、他の繭糸は正常である(写真 2)。

従って、原因は製糸工場における繰糸以前の汚れであると考えられ、また着色状態からも選繭工程における選繭不良による内部汚染繭が混入して繰糸されたものと推察される。
